



バスを運転する武田さん



話を同った武田さん

市内には製造、建設、運送、医療、福祉、情報通信、港湾に関する仕事などバランス良くさまざまな仕事があり、独自の特色を持った魅力的な事業所が約3,300も所在しています。今回はその中からシニアが輝く「京都交通株式会社 舞鶴営業所」を紹介。入社42年目、67歳の武田孝一さんに話を伺いました。

舞鶴で働こう！ Vol.9 京都交通株式会社 舞鶴営業所

シニアが幸せに活躍する仕事

お客さまを安全に運ぶ仕事

バスの運転手として、市内を走るローカル線、京阪神へ走る高速線、団体客などを送迎する貸し切り業務をこなしています。お客さまの命を預かる大変な仕事ですが、バスがないと移動できない人は多く、そうした人たちに安全に目的地までお送りする大切な仕事にやりがいを感じます。

お客さまから幸せをもらう

お客さまから「安全に運転してくれてありがとう」など感謝の言葉をかけていただくと、とても幸せな気持ちになります。その言葉で「次も頑張ろう」と思えます。また、若い頃、田井・野原などの路線バスを運転していましたが、その頃乗せていた子ども達は、今はもう40歳を超えています。でもいまだに覚えて

くれていて、スーパーなどで「おっちゃん！」と声をかけてくれます。とてもうれしいことです。そしてこれはバス運転手の良いところですが、自分の子ども達の修学旅行にバスの運転手として行かせてもらいました。今会社で働く若い社員も、それを楽しみにしています。

大変なこともあります。お客さまは高齢者が多く、少しの揺れでもけがをする可能性があります。そのため、停車・発進、ハンドル操作には特に気を使っています。繊細な運転を心がけています。

未経験のシニアも自分のペースで活躍できる

会社には定年退職後に未経験で入社する人もいます。大型免許を持っていないでも入社可能です。そんな人でも、免許取得支援や取得後の研修、先輩のサポートがとて充実しているのです。安心してドライバーとしての道を歩むことができます。独り立ちした後も、ドライバーが運転に集中できるよう、事前に注意すべき道を会社が調べてくれるなど

京都労働局と雇用対策協定を締結

市と京都労働局は、これまで市就業支援センターを両者で運営するなど、地域の雇用対策に取り組んできました。これまでの取り組み実績を生かし、今後さらなる連携強化を目指すため、11月6日に雇用対策協定を締結しました。今後、シニア活躍応援就職フェアをはじめ、この協定に基づき、さらなる雇用対策への取り組みを進めていきます。

◆シニア活躍応援 就職フェア

【日時】12月13日(水) 13時30分～15時

【場所】総合文化会館

【内容】合同企業説明会。詳しくは市ホームページで確認を。右コードからアクセス可



【対象】おおむね55歳以上の求職者

【問い合わせ先】産業創造・雇用促進課 (☎66・1021)

京都交通にも参加!

舞鶴市の公共交通の一角を担う京都交通(株)舞鶴営業所。約70人が勤務している。ドライバーの平均年齢は55.1歳で、大型免許を持っていないでも入社可能。入社後、自動車教習所で大型免許を取得した後も空車バスでの教習、最寄りバス停までの回送業務などで運転技術を習得。入社後3か月は先輩社員が横について指導するなど、教育体制が整っている。免許取得費用の貸し付け制度もあり、取得期間中も給与を支給。免許取得後、研修期間中でも、始業点検から終業点検までの時間で賃金計算がされる。基本給に加え、走行キロ手当や出張手当、ワンマン手当など頑張り給与に反映される体制が整っている。賞与は年2回支給され、昇給あり。昨年は全社員が昇給。所定の公休に加え、有給休暇など各種休暇制度あり。勤務時間は運行ダイヤによって異なるが、ダイヤ間の空き時間は、休息など自由に時間を活用することができる。定時嘱託勤務を選択すると、勤務日数が正社員の3分の2になるなど、柔軟性のある働き方も可能。健康状態や認知機能などの検査も定期的に厳しく実施している。なお、シニアに限らず、パートなど子育て中の母親向けの仕事もあり、老若男女が活躍する会社である。

企業データ

～地域の安全・安心を共に守る～ 京都府中・北部地域 消防指令センター

来年4月
始動!



それぞれの消防本部では、対応困難な大規模災害発生時でも迅速な応援体制が構築できるよう、府内の中・北部地域の6消防本部がそれぞれ行っている消防指令業務(119番通報の受信・出動指令など)を福知山市にある共同消防指令センターに集約し、来年4月1日から運用を開始します。《消防本部警防課》

事前に試験運用をします

「京都府中・北部地域消防指令センター」の正式運用は来年4月1日からですが、舞鶴市消防本部管内の119番通報は、**来年2月から試験運用のため共同消防指令センターでの受け付けを開始します。**通報の受付場所は市外に変わりますが、消防車や救急車は、これまでどおり最寄りの消防署から出動します。試験運用開始の詳しい日時は、決定次第消防本部のホームページなどで改めてお知らせします。

映像で伝える新しい通報システム

指令センターでは同運用に併せ、新たに映像通報システム「Live119」を導入します。同システムは、通報者のスマートフォンで撮影された現場の映像をリアルタイムで指令センターに送信するものです。**災害現場の詳しい状況をセンターに伝えることで、迅速な現場対応や的確な応急処置の指示を受け取ることができます。**

指令センターの職員が必要と判断すれば、映像通報を依頼しますので、ご協力をお願いします。

Live119の操作方法



いざという時は落ち着いて通報を!

119番のかけ方はこれまでと変わりません。**通報の際は、舞鶴市から住所を伝えてください。**

指令センターでは京都府中・北部地域の6消防本部から派遣された消防職員が通報の対応を行います。

災害情報専用ダイヤルの変更

音声ガイダンスで案内している災害出動情報や火災気象情報、警報などの災害情報専用ダイヤル番号を来年2月中旬から変更します。

0773-63-0119 ⇒ 050-5536-6960

なお、音声ガイダンス以外の消防に関するお問い合わせは東・西消防署へお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】東消防署(☎65・0119)、西消防署(☎77・0119)